

令和7年度 八王子市立石川中学校 学校経営報告書 (学校長 沼本 邦広)

学校の教育目標		
「徳」心を広くもつ 「知」よく考え勉強する 「体」からだをきたえる		
目指す学校像		
☆生徒一人ひとりに居場所があり、☆安心・安全で、☆自分の力を伸ばせる学校		

八王子市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>								
1 (徳) 心を広くもつ			2 (知) よく考え勉強する			3 (体) からだをきたえる		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価		
	① 「話を聴く」「聴きあえる集団」	B	① 石川中授業スタンダードの確立	B	① 体育大会・合唱コンクール等	A		
	② 週1回の学校いじめ対策委員会	A	② 授業改善を目標とした研究授業	B	② 健康・安全教育の充実	B		
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価		
	① 自他の大切さを認める教育の推進 93%	A	① 授業は分かりやすい 65%(保護者)	B	① 人権教育を推進している 69%(保護者)	C		
	② いじめを許さない学校づくり 90%	B	② 授業は工夫して行われている 95%	A	② 学校行事に意欲的である 87%	B		
③ よりよい学校生活を送るための指導 93%	A	③ 評価は適切・公平である 75%(保護者)	B	③ 学習環境は整備されている 93%	A			
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動」での生徒会の取り組みを評価する。教員も意欲的に参加していて素晴らしい。 ・いじめの兆しを見逃さずに教師が連携して素早く対応する体制が取れていることや解決が難しいケースでも経過を見守り続けていることは評価できる。 ・毎月のいじめアンケートと週一回の学校いじめ対策委員会開催を今後も継続してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業・協議会に学校運営委員会が参加できる体制があり、とても良い。 ・教科を問わず、教師の授業の進め方に共通した方向性が見られる。全生徒が何らかの形で授業に参加するように工夫されている。 ・持続可能な校内研修体制を構築してほしい。 ・生徒たちの授業の様子が楽しそう。 ・少数だが、授業者によって態度を変える生徒がいる。残念である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動はよくやっている。安全点検は毎月1回実施するべきである。 ・毎月避難訓練が実施されており、救命救急の学習のチャンスがある。 ・水泳の授業では、ボランティアを入れるなど地域関係者と連携してほしい。 ・全体的に校舎内はきれいである。校内に汚れたままに放置されている場所はない。設備等への市の援助は不可欠。 ・人権教育を推進していることを保護者に発信してほしい。分からないが多い。 			

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>								
4 オリンピック・パラリンピック教育の推進			5 地域連携と地域人材の活用推進			6 生涯を見通した「キャリア教育」		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価		
	① 通級指導と連携した特別支援教育理解	B	① 地域への情報発信	B	① キャリア・パスポートの作成	A		
	① 地域と協働によるボランティア活動の充実	B	② 学習支援員による授業内外支援	B				
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価		
① 特別支援教育に取り組んでいる 72%(保護者)	B	① たよりやHPによる情報発信 94%(保護者)	A	① キャリア・パスポートの活用 90%	B			
② ボランティアマインドの育成(数値なし)	B	② 498名の「学びの保障」100%	B					
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の部活動では、地域でのボランティア活動の実績があるが、そもそもボランティア活動をする場や機会を知る情報提供があるととても良い。 ・学校全体として、生徒一人ひとりのボランティア精神の充実が必要。 ・特別な支援が必要でない生徒・保護者に対する特別支援教育理解の推進を望む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日HPが更新されている。また、学校だよりがとても見栄えがよい。 ・予算が限られているが、地域と協働して「学習支援教室」を充実させてほしい。 ・不登校生徒に対する居場所づくりを一層推進してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科や学習目標に限定せず、各自で自由に短期間の達成目標を立てて、自主的に努力・挑戦し、振り返りを記録に残していくことで、自身の成長を確認できるものだと考える。 ・職場体験や職業人の話を聴く会、上級学校等からの講話などが充実している。 ・小学校との連携、充実強化を期待する。 			

人材育成・組織運営	
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりチームによるOJTの活性化も図るため、経営支援部の仕事に盛り込み、計画的に実践することができた。 ・主幹教諭の管理職としての資質向上(毎朝の主幹会や喫緊課題の解決を通して)は図れた。 ・適材適所の配置により、意欲と達成感をもたせ、教諭・主任教諭の学校運営意識の向上を図り、昇任への意欲の向上を図れた。 ・支援・応援・指導し、全教職員の職務内容や教育実践を実現させ、生徒のために自立した教職員へ育成することができた。 ・ミニ研究Daysや校内研修の充実による授業力に関する研修を実施することができた。研修内容の精選が今後の課題である。
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の人間関係が良好であることは、悩みや課題を一人で抱え込んで疲弊することを防止するだけでなく、相互に支援協力し合える安心感が生まれ、授業や学級運営のためにより良いアイデアを生み出すことのできる職場環境を作り出していくと思う。現在石川中は概ねそのような状態を保たれていると感じる。 ・評価します。このままの持続を望みます。 ・教室に入れない生徒向けの登校支援教室の取り組みを高く評価する。来年度に向けて、今年度以上の開設日設定を期待する。また、不登校の対応等について、教職員と学校運営協議会を対象として研修会を実施してほしい。

中期的な経営目標の達成状況	
<p>生徒の自治活動は、成果を上げつつある。生徒会活動や学校行事、部活動を通じ、今後、更に生徒の自治活動を推進していく。</p> <p>生徒の学力向上においては、成果があまり表れていない。今後も教科指導力向上と家庭学習の定着を図っていく。</p>	
次年度の重点課題	
<p>生徒の在籍数は命の数という最重要課題に沿い、コミュニティスクール校としての取り組みを充実させ、地域関係者との連携を活性化し、石川中に在籍する生徒を「一人も置いていかない教育活動」を実践していく。</p>	